

活動の場所

「プレシーズの森」  
栃木県佐野市葛生町 モリ田守 内



活動目的

当社は、栃木県佐野市葛生町の合同会社モリ田守の協力のもと、地球課題を解決するヒントを学べる森 [里山] として、伝統的な里山文化を継承する場として、「プレシーズの森」を開設し活動しています。

「プレシーズの森」は、休耕田を復活することで、人工林、自然林、竹林、さわ、田畑、水源などで構成された豊かな自然環境を守り、人と森との繋がりを学び、育む、里地里山保全活動を続けていきます。

活動内容

トンボやメダカ、蛙、フクロウなどの昆虫や水生生物、鳥、小動物から様々な動植物まで、生物同士がつながりを持ち、支え合う自然環境を、知って、感じて、学べる場として「プレシーズの森」を運用してきました。

生物多様性を学べる「シェアできる学びの森」をコンセプトとして、大人から子どもまでが環境保全活動 自然学習 米づくりを体験できる次世代教育の場として「プレシーズの森」を提供しています。

春先の田植えに始まり、初夏の草取り、秋の稲刈りや、野菜の採取、森林学習、水辺や草原での生態学習、鳥獣被害問題への取り組みなど、自然を通じて、食糧問題や環境問題、地域社会の問題等を自分ゴト化いただく体験をしてきました。

本活動は2013年に始まり、2023年で活動10周年を迎えます。

「プレシーズの森」は、都心に近い関東圏に立地し、これまで多くの企業 団体、その家族や子ども食堂の方々など様々な皆さんが参加、生きた里地里山保全活動を体験いただきました。

2014-2019年までは酒米を、2021-2022年はうるち米を育成してきました。

酒米づくりでは佐野市に酒蔵を持つ第一酒造株式会社と提携し、日本酒造りの一助となり、地域社会との連携 貢献を推進しました。また、うるち米づくりでは、田植え 稲刈りに参加したメンバーの皆さんでお米として食べていただくことで、食育の一環として、大切な体験をしていただきました。

里地里山保全 農作物作業を続けることで、森林を守り、源流の水資源が保全され、様々な生物が育まれます。上流をキレイにすれば、下流の水質保全にも繋がり、森だけでなく海の保全にもつながる活動を続けています。

私たちプレシーズは事業活動を通して、環境保全を始め様々な社会課題の解決に取り組み、サステナブル社会の実現に向け努力し続けています。



PRしたいポイント

- ①休耕田の復活による里地里山保全
- ②希少動植物の保全、生物多様性の保全
- ③都心に近い場所 コンパクトなエリアに、生態系の宝庫と言われる里山で自然を感じ、学べる、楽しい場所づくり
- ④色々な企業と楽しく自然学習を実践できる学びの場（シェアできる学べる森 [里山] ）の提供
- ⑤農作業体験から食育、生物多様性の体験まで、多彩な実体験の提供
- ⑥人工林、自然林、竹林、さわ、田畑、水源などで構成された豊かな自然環境の保全  
地球環境問題、森林問題、水源問題、鳥獣被害問題、食育などへの取り組み
- ⑦里山保全活動に伴う地域活性化 地域創生

活動効果、今後の展開 等

- 里地里山保全活動の継続
- モリ田守（プレシーズの森）のOECM申請
- （株）プレシーズ、（同）モリ田守、イノベーション（株）、（株）パズルステージ、宇都宮大学、参加企業 団体など、産学連携した活動の発展 継続
- モリ田守の里地里山エリアの動物相、植物相の調査